

ボンシヤンス伊藤隼人選手(右)と交流する児童ら＝松川北小学校で



出場選手ら児童と交流

初の松川ロードレース控え訪問

七月三十一日、八月一日に松川町で開かれる「第一回全日本実業団サイクルロードレースin南信州松川」(中日新聞社共催)を前

松川北小

に、飯田市に拠点を置くボンシヤンス飯田の選手らが二十八日、同町松川北小学校を訪れ、全校児童約百八十人と交流した。

(木下直哉)

同町で初めて開催されるロードレースや、自転車に

自転車の仕組みなど解説

関心を持ってもらうのが狙い。出場する伊藤隼人選手(三ツ)や同チーム出身で韓国のプロチーム「クムサン・ジンセン・アジア」に所属する奈良基選手(二心)など五選手が参加した。

選手らは自転車の仕組みやレースの概要について解説。自転車の速さを「伊那へは車よりも早く着く」と説明すると、児童から驚きの声があがった。最後に自転車やヘルメットに触れ、児童らは「軽い」「かっこいい」と興奮した様子だった。

同校六年の猪又岳君(二心)は「ロード用自転車に初めて触ったけれど軽くてびっくり。松川の大会は見に行きたい」と目を輝かせた。